

これから学校見学をお考えの  
保護者の方へ



# 学校見学の観点

これから就学や転学に向けて、学校見学をお考えの保護者の方々が、見学の際にどのような点を中心に見学をすることが望ましいのかについて簡単にまとめてあります。

この観点は、あくまでも一般的なものですので、お子さんの様子をもとに保護者の方々が考えを整理なさる際に参考としてお使いください。

## 1 お子さんの学校生活を想定する

日常生活動作や現在の幼稚園・保育所・学校での生活から、お子さんが支援を必要とする場面を思い浮かべて、学校の様子を見ることが大切です。あらかじめお子さんの様子を想定することで、見学の際に何を見て、何を質問すれば良いのか整理されてきます。

学校での活動を、登校から下校までの一日の流れでイメージし、どのような支援があればお子さんがスムーズに学校生活を送ることができるのかを考えてみましょう。「どのような集団で（どんな子どもたちと一緒に活動するのか）」「どのような内容を」など、実際に活動の様子を見てくることも大切です。

何となくのイメージで構いません。実際に見学した後で、気になることや不安なことが出てくる場合も多いですので、その際には、見学後に学校の先生に聞いてみるのも良いと思います。

## 2 具体的な観点

### (1) 健康や安全面での支援について

#### ① 医療的ケアについて

- ・看護師の対応
- ・ケアを行う場所

#### ② その他

- ・服薬管理、方法
- ・緊急時の対応（発作対応 など） など…

※この点は、学校としての体制が大きく影響します。具体的に必要な支援について、どのように対応できるのかを確認することが大切です。また、ご家庭でも、どのような協力ができるのかも考えておく必要があります。

### (2) 通学について

- ・通学方法の選択（徒歩、送迎、誰がどのように送迎 など）
- ・通学における支援内容

### (3) 学習環境

- ・教室について（何階、広さ、活動や休憩スペースの確保 など）
- ・トイレについて（ひろびろトイレの有無や場所 など）
- ・水道の高さや形状（蛇口の形状 など）
- ・給食を食べる場所や食事方法
- ・エレベーターや階段昇降機の有無
- ・学年の学級数や学級の児童生徒数
- ・一緒に活動する児童生徒の様子や支援体制
- ・学習内容や支援内容 など…

### 3 学校の現状

#### (1) 現在ある特別支援学級について

- 特別支援学級の数
- 特別支援学級の種類と在籍人数  
(知的障害, 情緒障害, 肢体不自由, 病弱など障害種別に学級が設置されています。)
- 支援学級のある場所
- 学習内容
- 通常学級との交流学习の内容や時間  
(お子さんの実態によって変わりますので, あくまで参考程度です。)

#### (2) 学校や学級の雰囲気

- 学校としての考え方や, 支援の方針など, 全体としての雰囲気, 印象という点も見て来られると良いと思います。

